

DRUG

INFORMATION



2008 No. 18

平成20年8月28日発行

水薬の与薬時は薬袋の用法・用量を確認すること！

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)



水薬の与薬時は薬袋の用法・用量を確認すること！

【インシデント事例】

「アヘンチンキ 1日 1.5mL 分3 毎食後 5日分」という処方が看護師管理で与薬されていたが、5日目の投与が終了した時点で薬剤が余ってしまったとの報告を受けた。調査を行ったところ、薬袋には「1回 1目盛り」と記載されていたが、担当看護師の使用している PDA に表示された 1回量は 0.5mL であったため、PDA の表示量に基づいて計量して与薬を行ったためであることが判明した。

〈インシデントが発生した要因〉

- 1) PDA や NASIST に表示される 1 回投与量と薬剤部で調剤後の薬の投与量が異なること。
- 2) お薬に添付されている医薬品情報紙、NASIST、薬袋など与薬指示の確認方法が複数あること。
- 3) 与薬指示確認はお薬に添付されている医薬品情報紙で行っている場合が最も多く、正しい指示確認ができていなかったこと。

今回のケースの場合、調剤時にアヘンチンキを 7.5mL 秤量し、適当量の水を加えて調製しています。用法・用量は薬袋や水薬瓶に表示することになっており、薬袋や水薬瓶には「1回 1目盛り」と表示しています。従って、今回の場合、**薬袋あるいは水薬瓶の表示から与薬量を確認**しなければならなかったわけです。また、与薬指示の確認方法が複数あることや、医薬品情報紙は医師の処方オーダー時に用法の指示がない場合は用法・用量を表示できないため、「医師の指示どおり」等の記載となり正しい用法・用量を確認することができないこともインシデントが発生した要因と考えられます。

薬剤部で調剤する薬剤は、服薬しやすくあるいは取り扱いやすくするように調製することがあるため、薬袋に正確な用法・用量を表記しており、薬袋が服用時あるいは与薬時に最も信頼できる情報源となっています。薬剤に添付した医薬品情報紙はあくまで服用を支援するための補助ツールであり、薬剤によっては正確な情報が十分に記載されていない場合があります。以上のことから、今後の対策として、**与薬時の指示確認は必ず、薬袋の用法・用量を確認することを徹底**していただきたいと思います。

薬剤部で調製している水剤には投与方法、目的や投与日数などに応じて 2 種類の調剤方法を行っており、それぞれ服用方法が異なります。1 つは今回のアヘンチンキのような「A. 目盛りで投与する薬剤」で、薬剤は水薬瓶の目盛りに合わせるために適量の水を加えて調製しており、また「B. 計量して投与する薬剤」では希釈せずに原液のまま調製を行っています（表 1 参照）。A の薬剤は水薬瓶にマジックで記した○印の線の 1 目盛り分を 1 回量として服用し、B の薬剤は添付した計量カップなどで指定された量（1 回 ○○ mL）を計り取って服用することになりますので、覚えておいていただくと良いでしょう。

繰り返しになりますが、薬剤を服用あるいは与薬するときには、**必ず薬袋に記載された指示に基づいて投与を行ってください（水薬の場合は、水薬瓶に貼付したラベルの指示でも OK です）**。薬袋・ラベルあるいはそこに記載された内容は、全薬剤の投与が完了するまで大切に保管していただき、いつでもその内容を確認できるようにしておいて下さい。電子カルテや NASIST は診療上重要な情報源ですが、今回紹介した事例のように、ときに過信がエラーを招くことがあるため、くれぐれもご注意ください。

表 1. 水薬の調製法による分類（岐阜大学病院の場合）

（※：麻薬）

A. 目盛りで投与する薬剤	B. 計量して投与する薬剤
アスベリンシロップ 5mg/mL アヘンチンキ※ インクレミンシロップ 50mg/mL 塩酸モルヒネ水 10mg/mL※ ブロチン液 33mg/mL ペリアクチンシロップ 0.4mg/mL ポンタールシロップ 32.5mg/mL ムコダイシロップ 50mg/mL メジコンシロップ リン酸コデイン水 10mg/mL※ リンデロンシロップ 0.1mg/mL 	アルロイド G イソバイド液 700mg/mL イトリゾール内用液 10mg/mL ガスコンドロップ内用液 20mg/mL キシロカインビスカス 20mg/mL ザロンチンシロップ 50mg/mL D-ソルビトール液 750mg/mL デパケンシロップ 50mg/mL トリクロリールシロップ 100mg/mL ファンギゾンシロップ 100mg/mL フェノバルエリキシル 4mg/mL マルフア液 ラクツロース・シラップ  